



8. 働きがいも経済成長も

【東京支店 休憩時間のフレックス対応導入】

東京支店では、従業員がよりゆったりと休憩を取れるよう、休憩時間のフレックス対応を導入しました。

【目的】

これまで、東京支店では休憩時間を12:00～13:00と固定していました。しかし、昼食時間帯の混雑により、食事だけで休憩が終わってしまうという課題がありました。そこで、従業員がよりゆったりと休めるよう、2025年9月1日より休憩時間をフレックス対応とし、11:00～14:00の間で1時間取得できる制度へ変更しました。

【効果】

- ・業務効率の向上
休憩時にしっかりリフレッシュできることで、業務の集中力やパフォーマンスが向上します。
- ・柔軟な働き方の推進
それぞれの業務状況に合わせて休憩を取れることで、働きやすさが向上します。
- ・ワークライフバランスの改善
「休憩＝食事だけで終わる」状況を解消し、気持ちに余裕を持って休憩時間を過ごすことができます。
- ・健康促進
混雑回避や早食い防止につながり、従業員の健康を守ります。